

## 日吉台地下壕保存の会

## 会報

## 第13号

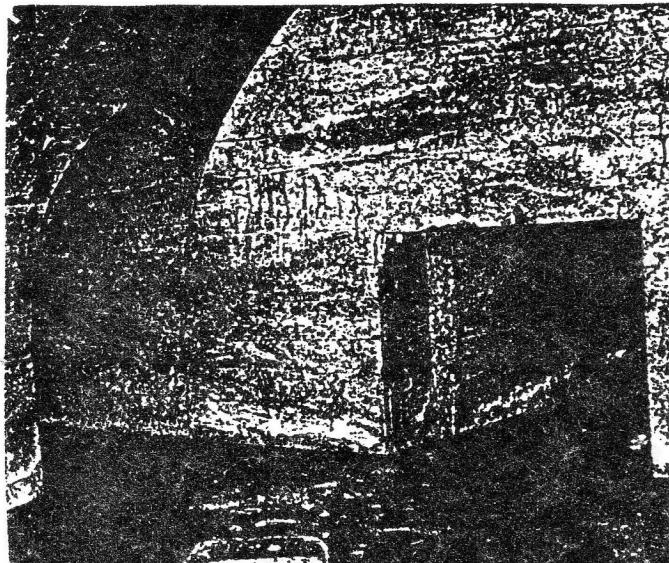
発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

②223

横浜市港北区下田町3-15-27

☎ 045-562-1282 (寺田貞治)



川崎市蟹ヶ谷の元海軍通信隊の地下壕。戦時中は海軍の基地や艦隊からの受信基地で、日吉の連合艦隊司令部とケーブルでつながっていたという。

二・三年前から、男の子をもつ母親として、我が子を戦場に送るような事は決してしたくないと想い始めました。いつたいあの頃、私の祖母達の世代の日本の女は何を想い、息子を戦場に送るため白い割烹着姿でバンザイを叫んでいたのか。私はその年齢に達した今、教えられなかつた歴史の事実を知らなければならぬと強く思っています。

女は常に戦争の被害者の顔をしてゐるけれど、それと表裏一体、加害者の顔も持つてゐるに違ひない。その顔と真正面に向き合うことが、私は、楽しく、私に無理をせずに、活動することの大切さを教えてくれました。じつくりと腰をすえて前向

ひよんな事から「地下壕保存の会」の幹事の一員となつて一年近くなりました。幹事 勅岡 敦子

日吉台地下壕保存の会と私 1  
お知らせ 2  
日吉台地下壕見学会 2  
第3回幹事会報告 2  
第4回幹事会報告と 3  
その後の活動報告 3  
日吉台地下壕の思い出 4  
「強制連行・強制労働を考える全国交流集会」参加報告記 5  
保存会セミナー「田中伸尚先生の講演」をきいて 6  
日吉台地下壕見学会感想文 6  
駒林小学校PTA 6  
日吉台西中学校PTA 7  
編集後記 8

## お知らせ

◎ 口口士口ムロ地下壕  
日時 九月二日（土）

午後1時半  
午後1時半

藤山記念館大会議室  
三〇名。ただし、中学

生以上とする。  
九月一五日までに、往  
復葉書で、住所・氏名  
次第締め切りますので  
御了承下さい。

申込

・電話番号をお書きの  
上、事務局に申し込んで  
下さい。定員になり  
次第締め切りますので  
御了承下さい。

上、事務局に申し込んで  
下さい。定員になり  
次第締め切りますので  
御了承下さい。

上、事務局に申し込んで  
下さい。定員になり  
次第締め切りますので  
御了承下さい。

服装と携行品

汚れてもよい服装、帽  
子・長靴・手袋・懷中  
電灯・筆記用具を持参。

見学の際には、案内者の  
指示にしたがつて行動  
し、謙虚な気持ちで  
戦争と平和について考  
え、歴史を学習して下  
さい。入口の民家で地  
下壕の水を利用して鯉  
を飼っているので、水  
を汚さないようにする

注意

上、事務局に申し込んで  
下さい。定員になり  
次第締め切りますので  
御了承下さい。

こと。汚れた長靴はそのままはいて帰るか、ビニールの袋にいれて持ち帰つて下さい。

第三回幹事会△報生口  
日時 七月八日  
場所 藤山記念館中会議室  
報告事項

○事務局長より  
●一、会員数三八六名  
●二、六月二一日：川崎市

「ふれあい館」の中根氏より、  
在日朝鮮人中学・高校生と來

日する予定の韓国中学・高校  
生を対象にした地下壕見学会

を行いたいとの要望があり、  
地主の方の了解を得て行うこ  
とに至った。

●三、六月二五日：有隣堂出  
版主催で、保存会から寺田、  
横浜大空襲を記録する会から  
今井氏、連合艦隊司令部にお  
られた電気長の菅谷氏による

「ふれあい館」の地下壕見学予定。  
ミナー。田中伸尚氏の講演を

●六、七月一四日：保存会セ  
ミナー。田中伸尚氏の講演を

予定。

●七、八月四日：川崎市「ふ  
れあい館」の地下壕見学予定。

●八、八月一一日：八王子地  
下壕見学会予定。

○議事

●一、保存会セミナー（田中  
伸尚氏の講演会）について

日時：七月一四日（日）  
午後二時三〇分

●二、高尾の地下壕見学会  
日時：八月一一日（日）  
午後二時

●三、六月二八日：慶應の国  
際関係会主催で、会の学生と

国際交流で来ている外国人学  
生九名を含む二四名で、地下  
壕を見学した。その後、第二  
次大戦について活発な質疑応  
答があり、有意義であった。

●五、七月七日：日吉台西中  
学校P.T.A.が地下壕見学の予  
定。日吉地区センターで、一  
時間レクチャ。

●六、七月一四日：保存会セ  
ミナー。田中伸尚氏の講演を

予定。

●七、八月四日：川崎市「ふ  
れあい館」の地下壕見学予定。

●八、八月一一日：八王子地  
下壕見学会予定。

●九、八月一四日（金）、八月  
一三日（火）、八月一六日  
（金）に予定。

●四、聞き取り調査について  
名簿を作成し、手分けして当  
たる。

●五、日吉台地下壕の見学会  
について

九月二一日（土）  
一時三〇分～二時三〇分

藤山記念館大会議室で説明

二時二〇分～四時

地下壕見学

●六、保存運動の進め方につ  
いて

その他：ボスター、講師謝礼、  
車代、懇談

●七、パンフレットの発行に  
ついて

区役所で、今後の方針を聞く。  
議員に相談する。

●八、パンフレットの発行に  
ついて

今までにまとめたものを基に  
作成する。

高尾駅南口改札口  
進め方：参加費の徴収、挨拶  
案内者の話、地下壕  
見学、浅川市民セン

タードレクチャ  
案内者の話、地下壕  
見学、浅川市民セン

(3)

- 八、会報第一二号について  
感想文が良かつた。戦争体験の無い若いお母さんが、あれだけ感じるのは大変なことだと思つた（小園）。
- 九、会報一三号の発行について  
八月下旬に発行する。内容は行事の報告と今後の予定、全国集会の報告など
- 一〇、その他  
全国集会への派遣について
- 事務局長より  
●一、会員数＝三九五名
- 二、七月七日：日吉台西中学校P.T.A.が地下壕見学。日吉地区センターで、一時間レクチャー。四〇名参加。
- 三、七月一四日：保存会セミナー。田中伸尚氏の講演。
- 三八名参加。
- 四、七月二八日：茂呂先生が父母と生徒一〇人で日吉台地下壕見学。
- 五、七月三〇日：東京新聞

●記者と会談。八月七日の東京新聞に掲載予定。

●六、八月一日：有隣堂出版発行の「有隣第二八五号」に地下壕に関する座談会の記事が掲載。

●七、八月四日：川崎市「ふれあい館」主催の地下壕見学会を行つた。

在日韓國中高生数名と、交流活動をしている日本の女子高生数名の他、韓國から參加した中学・高校生一八名、ふれあい館関係者数名が參加。

NHKテレビが来ていて、九日の午後六時からのイブニングニュースと、八時四十五分からのNC845で放映予定。

●八、八月六日：記念館裏の地下壕と蟹が谷の地下壕の下見をした（寺田、茂呂）。

●九、一〇月一二日：矢上小学校家庭教育学級で地下壕見学予定。

●一〇、一〇月二六日：駒林小学校PTAで地下壕見学会予定。地区センター一三時。

●一一、一二月二二日：日吉台南小学校PTAで地下壕見学予定。日吉台南小一〇時。

●二二、二二月三〇日：神奈川県高校社会科教員団体の地下壕見学会予定。

●一三、その他、川崎市の木月小学校教職員、慶應の教職員などが見学を希望。

●一四、映画「戦争と青春」、九月一四日公開。特別鑑賞券大人千二百円（割引券九百円）、小学生八百円（割引券七百二十円）。問い合わせは事務局まで。

○議事

●一、保存会セミナー（田中伸尚氏の講演会）について

感想：①膨大な資料を調べておられることが、凄いと思う。②このようなお話を若い人に聞かせたい。③参加者が多いため、もっと宣伝すればよい。分かりやすかつた。

●二、高尾の地下壕見学会について

案内者は豊島氏

三、地下壕の調査と記録の進め方にについて

八月一三日（火）実施  
午後一時三〇分、

●四、日吉駅西口バス待合所集合普通部南の地下壕調査

幹事は午後一時に集合。  
事前にアンケートを作る。

●五、保存運動の進め方について

港北区の区長に会つて話を聞き、これまでの経過を踏まえて、保存の要望をする。

問題は道路から直接はいることが出来る入口を確保することである。入口の整備と泥の除去にかかる費用を、専門家にみてもらう。整備保存の要望するとき、横浜市役所の窓口はどこになるか。地下壕の管理をどうするか。市も慶應も事故が起つたときの責任を最も問題にしている。

◎その後の活動報告

①八月九日：NHKテレビ午後六時から「多民族共生時代」という番組の中で「ふれあい館」の地下壕見学を約二分間放映。

②八月一日：高尾の地下壕見学。二三名参加。

③八月一二日：TBSが、午後二時より地下壕をビデオ撮影。

④八月一三日：普通部南の地下壕調査。テレビ東京が下見に参加。

⑤八月一四日：午前一〇時に茂呂幹事と事務局長の二人が、港北区の区政推進課の課長と係長に会い、約二時間ほど保存について話し合った。

壕そのものの保存については消極的で、記録の保存、資料の収集については関心があつた。記録の保存について今年度予算申請したが通らなかつたので来年度は申請できない。しかし当時の人高齢であるので、当時の資料の収集や記録の保存は考えなければとの事であった。これについては、神奈川県が一九九一年開館をめざして費用百五十億円で建設を予定している「国際こども館・平和館」が、資料の提供を呼びかけている。県の方にも連絡を取つて調べたらどうか。区の窓口として県の方は、適当などころはないが、もつて行くとすれば総務局の

文書課になるだろう。以前国

際・平和交流について検討したことがあつた。土砂の流入が激しいところがあるので、

保存と切り放して崖崩れなど

が整備できなか。など話し合つた。

⑥八月一四日：テレビ東京が、一時より普通部南と蟹ヶ谷の地下壕をビデオ撮影。産経新聞記者も同行した。

⑦八月一五日：TBSピッグモーニングという番組で、午前七時三三分より八分間、日吉台地下壕を放映。産経新聞にも掲載。

⑧八月一七日：テレビ東京がNイブニングという番組で、午後六時一五分頃、約四分ほど地下壕を放映。

## 日吉台地下壕

の

田

心

い

出

安藤 喜代司

昭和二〇年八月一七日熊本県菊池の特攻基地から夜陰にまぎれて脱走し、横浜の我が家へやつとの思いでたどり着きました。幸いな事に家は空

襲の被害にあわずほつとしま

したが、勤めていた造船所は鉄が無いため何の仕事もなく、親子七人食わしていかなければならぬ長男の賣務を感じ、つてを求めて日吉の慶應大学に進駐してきた米第八軍通信

隊の将校食堂にボーライとして働き始めました。現在は一部

を除いて殆ど廃屋になつておりますが、台地の一一番南側に三棟ある三階建ての元学生の

寄宿舎の一一番北側の一棟が兵舎で、三棟には約百人の将校

が寝泊まりしております。

現在の高校の校舎には、机を全部取り払つて約七百人の米

兵がおりました。戦争中に聞いていた「鬼畜米英」という言葉はとんでもないことで、毎日の料理の残りを全部家に持つて帰つて、お父さん、お母さん、兄弟に食べさせなさいと私に与えてくれました。

そのおかげで家族全員丸々と太つて配給米など余るぐらいでした。その時、暇を見て懐中電灯を持って興味深げに友人と二人で食堂の横にある入口から長い階段を下りて地下

壕に入り、ずい分大変なもの

を造つたものだと感心しました。壕の中には天井に通風筒が張り巡らされており、いろいろ機械や、会議室のよう

な広い部屋には書棚やテーブル・椅子、又広い通路にはベッドがあり、書類やボーグ箱が散らばつておりました。そ

の内、近所の人達や様子を知つている人達が、山の入口から中に入り殆どの物を全部もつて行つてしましました。

やがて日吉の駅にパンパン（米兵相手の売春婦）がたむろするようになり、一時期には毎晩二〇人位が兵隊と駅の周辺で交渉している姿が見え、

一般の人は気持ち悪がつて夜暗くなると、日吉の駅や町の中は殆ど人通りがなくなりました。パンパンはグランドの

周りや地下壕の中で商売をし、無警察状態が続きました。その内黒人の兵隊が何かのいざこざで地下壕の中で殺された事件がありました。

連合艦隊司令部が日吉に移つて間もなく、恐らくスパイが通報したのでしょうか、米軍

の知る所となり、日吉が空襲にあり一般の民家が大分焼けました。こんな立派なコンクリート造りの校舎であるにもかかわらず上級将校達は、自分のみの安全を一〇〇パーセント守るために地下深く壕を掘り、空襲警報がなるといち早く地下に退散するという卑劣な行為を取つて来ました。

昨年上野から靖国神社へと桜見物に行つたときの事ですが、靖国神社の参道横の植え込みの中で、多勢の人がムシロの上で酔っぱらつてドンチヤン騒ぎをしているのを見て、これでは国のために命を落とした英靈もたまつたものではないと思いました。

今少なくとも日本を侵略しようとする国は先ず無いといつても過言ではないとします。いたずらに軍備に無駄な金を費やして毎日戦争ごつこをしている様子を見ると、本当に腹立たしい思いがします。

防衛費の半分でも社会福祉に廻したらどんなに素晴らしい国になるでしょうか。くだらない戦争を絶対に起

こさせないよう、戦争の愚かさを知らない世代の人達に、一部の権力のある人間によつて我々が踊らされた馬鹿げた事を二度と繰り返させないよう、日吉台の地下壕を永久に保存し後世に伝えなければなりません。

### 「強制連行・強制労働を考える 全国交流集会」 参加報生口記

小蘭 優子

去る七月二七・二八日の二日間、兵庫県西宮市で、第二回目の全国交流集会が開かれました。一昨年五月の韓国

ノ・テウ大統領の来日を一つの契機として朝鮮人強制問題がクローズアップされたこともあって、この一・二年各地でこつこつと調査にかかわつて来た人々が、この集会をきっかけに大きく交流を始めました。

昨年第一回目の集会に、私達の会ではメッセージを送るにとどまりましたが、今回は幹事会で討議の上、正式に賛

同団体として加入、同時に集会にも参加することになり、行つて参りました。

暑いさなかでしたが、昨年にもまして八五団体、四百数十名の人々が西宮市の労働会館につめかけ、西宮市長(代理)の挨拶を皮切りに、記念講演「『強制連行』の調査の課題と展開」という題で、朴

慶植氏の熱のこもった話に耳を傾けました。「戦後四五年、遅きに失したとはい、今やらねば永遠に闇の中に葬りされてしまう」という言葉が心に残りました。

その前後に、各地で各様に取り組んでいる二〇団体ほどの中の市民の会の代表がかわるがわる登壇し、三分間スピーチが行われました。私も日吉台地下壕についてのあらましと現状を訴えました。「慶應のキャンパスの下に、そんな凄い地下壕があつたんですか!」とびっくりされ、かつて慶應で学んだ事のある人すら「知らないなかつた!」という声を聞き、もつと沢山の身近な人々にも、太平洋戦争下の実態を

この分科会では、「トンネルの暗闇の中に眞実の歴史を照らす光がある」というキャッチフレーズで、これまでの調査・研究の成果を発表しました。この後どの様に戦争の爪跡を保存して行くのかという保存の取り組みの話まで聞くことが出来ました。会場で配られた夕食の弁当を食べつゝ、八時まで話合いが重ねられ、そのあと阪急電車でゆられた宿泊先の甲陽園駅の近くの神戸学生青年センターという所に行きました。

宿では各自おもいおもいの交流が、午前二時まで繰り広

な方々と心ゆくまで語り合いました。「神奈川県は全国でも一番地下壕の多いところですから、しっかりとやつて下さい」と誰やらに声をかけられ、「一番たくさんあるにけられ、一回はフィールドワークとして甲陽園の地下工場跡に入りました。ひと一人が横になつてやつと通れそうな民家の軒先を通つて壕に入りました。例の（敗戦の時に、強制労働の朝鮮人が祖国独立の喜びに満ちあふれてかいたと思われる）壕の壁に刻まれた「朝鮮國独立」の文字を目のあたりにしました。

姿に胸うたれ、励まされて帰つてきました。この成果を保存の会でも今後生かしていくかなくてはと思つております。使い捨てにされ、放置されたまま、運行者の名簿さえ提出しない政府に対し、戦後補償をさせる運動を続けて行くのが、私達の戦後責任であり、日本が世界に信頼される道でもあると確信しています。

## 田中伸尚先生の講演を聞いて

日吉台地下壕見学会感想文  
駒林小学校 P.T.A

早く外に出たいと思つた。  
よくこんなに立派な地下壕  
を、戦争末期に作つたものだ  
と感心した。

景が見えた思いだつた。  
戦争を体験しない世代でも  
日本人として、もつと知るべ  
きだとつくづく思つた。

受けるが当時の様子がもう二  
つピンとこない。

トンネルの天井にゲジゲジ  
の群れを見たときは思わず帽  
子をかぶりなおした。そして

た。それらを要約し、分かりやすく説明して下さるには、どれほどの日時を費やされたのでしょうか。ほんの少し背

足元は泥と地下水でぬかつて  
おり非常にすべりやすい。  
暗号隊の部屋、水洗トイレ  
跡、発電機設置跡、七説明を

中電灯は役にたたず、ガイド役の寺田先生の持つビデオライ  
トが唯一、中の様子を明るく映し出してくれた。

幅三ヶ四寸、高さ三寸のト  
ンネルがH型に組み合わされ  
内側はコンクリートできれい  
に仕上げてあつた。ただし、

この度のイラク戦争も、テレビを通じて知るだけで、実態を知る人は少ない。ピンポ

（父 母） イント爆撃はテレビゲームのようだという人もいます。子ども達が「戦争と平和」を考えるきっかけとして、また子供達が大人になり、自分達の子供に「平和の大切さ」を語るために、そして日吉の歴史を語り継ぐ遺跡としても、この地下壕を整備保存し、活用して欲しいと思いました。

（父 母） 寺田先生、関係者の皆様、今日は貴重なお話と体験をさせて頂き、どうも有難うございました。

（父 母） お話をよ／＼わかり、楽しい一時でした。（丸橋）

日吉台地下壕の見学会を西中成人係の企画として持たせて頂き、本当に有難うございました。参加希望者が多く、抽選でお断りした方も沢山ありました。又、PTAの行事としては男性の参加申込が多かったことも含めて、思つた以上に地下壕への関心は深いと感じられました。

寺田先生の話を聞き、実際に地下壕に入つて見ることで「戦争」が身近な具体的なものになり、住んでいる日吉の町も近郊のベッドタウンとしての、のっぴらぼうなイメージから歴史を持った町（当たり前ですが）として自分の中で生き生きとしてきます。もつと沢山の人、子供達に地下壕を見て貰いたい。そのためには地下壕の整備・保存がされなければと思ひます。

自分達が住んでいる地域の戦争当時の歴史をきちんと見つめることで、むしろ現在の

たところ「子供の頃遊んで隅から隅まで知っている」との事で、たて穴のはしごを降りてテニスコートの入口に抜けたりしていたようです。古い竹ぼうきとコールタールで照明を作つて入つたなどといつていきました。蛙なんかを捕まえて食べるために、マッチ、塩を必ず持ち歩いていた昭和三〇年代の悪がきの姿が目に浮かびます。

話されたので、感心して引き込まれてしまいました。  
自分の住んでいるところに  
対する愛着を持つためには、  
やっぱり歴史を知ることが一  
番ですね。と言う訳で早速保  
存の会にも入会し、いろいろ  
勉強していこうと思います。  
素晴らしい企画を有難うござ  
いました。

お客様をお呼びしても、ご案内するところもない日吉に、こんな凄いものがあるなんて、大きな声で皆さんにお知らせしたい気持ちです。

(1年3組 田尻a)

地下壕見学会感想文  
日吉台西中学校 P.T.A.  
成人教育委員会

自分達が住んでる地域の  
戦争当時の歴史をきちんと見  
つめることで、むしろ現在の  
私達を癒す何かを貢える気が  
します。その事も戦争を記録  
する作業の一つの側面として  
大切なことに思えます。

学生の時から存在は知つて  
いたが、中へ入る機会を得ま  
した。

戦時に作られたとはいっても、内部にはそれを感じさせる設備が残っていないためか、寺田先生のご説明がなければ、何のために作られたものかわからず、現在のようご立ち入

りも不自由であれば、何れも地域在住者にも知られず消滅してしまうことも考えられますが。ともすれば曖昧にされがちな第二次大戦関連の歴史を正確に保存し、次代に伝えるために保存運動に参加したいと思います。

激変する世界の動きをテレビ等で見るたびに、「日本に生まれてよかつた」という子供たち。日本の侵略の歴史について、にわか知識で話してはみるものの表面的にしか伝えられない。そのような日々の中、地下壕見学の話が西中成人文教育係の活動の一つとし、持ち上がった。日吉の慶應の森の下に連合艦隊司令部が地下壕を作り、それが現存し

てはいる」というのである。日吉の町は、司令部の他、海軍の重要な機関が慶應のキャンパスに移ってきたために、空襲にさらされたと言う。話を聞くほど、正に「見ないでどうする」という思いであった。

この地下壕は、日本人労働者その他に、朝鮮人労働者によつても掘削されたと知られた。メディアで聞く満州や朝鮮からの強制連行、強制労働の話が、ここ横浜のしかも地元日吉の中で行われていたのである。戦況も知らず、過酷な労働条件のもとで、最も危険な作業に駆り出された異郷の人々の気持ちを思うと複雑な思いに打たれる。

日本の国が、その国民や周辺諸国の人々も巻き込んで強制してきた地下壕。この地下壕の見学は、世界の中で、これからどのように生きていべきかを考えるよい機会であったと思う。

(2年1組成人係 赤瀬)

この度は大変お世話になりました。

まして有難うございました。

この地下壕は日本人労働者者その他に、朝鮮人労働者によつても掘削されたと知られた。メディアで聞く満州や朝鮮からの強制連行、強制労働の話が、ここ横浜のしかも地元日吉の中で行わっていたのである。戦況も知らず、過酷な労働条件のもとで、最も危険な作業に駆り出された異郷の人々の気持ちを思うと複雑な思いに打たれる。

地下壕は私が想像していたよりもずーっと大きく、深く、その設備が立派であつたことなど全ての点で私を圧倒いたしました。

家へ帰り、いろいろと主人に説明致しましたが、やっぱり見たことが無いと想像がつかないのではないかと思いました。私は、今にも崩れそうな素掘りの狭いトンネルを想像していました。

見学してから日がたつにつけ、地下壕があつた事の重大さをひしひしと感ずるようになりました。保存会の目的にもありましたように、平和記念の史跡として保存し、「平和記念資料館」を建設して頂きたいと思います。主人も保存会に入会することになりました。

このような素晴らしい体験をさせて頂いて本当に有難うございました。皆様に深く感謝しております。

見学してから日がたつにつれ、地下壕があつた事の重大さをひしひしと感ずるようになりました。保存会の目的にもありましたように、平和記念の史跡として保存し、「平和記念資料館」を建設して頂きたいと思います。主人も保存会に入会することになりました。

◆何れの原稿も平和に対する熱い思いと保存の必要性が述べられていました。このような声に支えられて、私達も頑張らなければと思つています。

◆今後とも温かい御支援御協力をお願ひします。

◆秋には幾つもの見学会が予定されています。◆今回も見学会の感想文その他多くの原稿が寄せられました。有難うございました。

- ◆また全国の多くの関係団体とのコミュニケーションも深りました。
- ◆私達の保存の会も全国的に知られ、注目されるようになってきました。
- ◆地域でも関心が高く、

◆戦争と平和が語られる  
8月も終わろうとしている  
ます。今年も事務局には  
新聞社やテレビ局から連  
絡があり、地下壕の取材  
につきあいました。

編集後記